

第2回佐倉市部活動地域指導事業検討会 会議録（要録）

期 日 令和6年11月15日（金） 開会 午後3時00分
閉会 午後4時00分

会 場 議会棟 全員協議会室

出席委員 青木 和浩委員、押尾 豊幸委員、齊藤 太郎委員、
菊地 龍太委員、志田 宗人委員、緑川 義徳委員、
宮崎 由美子委員、村上 武宏委員、榎本 泰之委員、
舎人 樹央委員、遊佐 憲司委員

オブザーバー 千葉県部活動地域移行総括コーディネーター 濱谷 昌人 氏

傍 聴 人 1名

事務局 指導課 松原 和弘、小林 亜也子、谷野 研
社会教育課 岩橋 一樹

1 開会

【司会】

本日はお忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、只今より第2回佐倉市部活動地域指導事業検討会を開催させていただきます。しばらくの間、進行を務めます指導課の松原と申します。よろしくお願いいたします。まず最初に、配布資料の確認をさせていただきたいと思います。

本日配布している資料は、

- ・ 会議次第
- ・ 令和6年度 第2回佐倉市部活動地域指導事業について
- ・ オークスベストフィットネス 第2回協議会資料
- ・ 指導課 部活動地域指導事業リーフレットおよび地区割のイメージ図

以上、不足などございませんでしょうか。

なお、本日の会議の議事録を作成するため、会議の内容を録音させていただきますのでご了承ください。また、本日の会議には部活動地域指導事業業務委託を受託した、株式会社オークスベストフィットネスから3名の方にもご参加いただいております。

それでは、本検討会の設置要綱第6条の規定により、会議の議長は会長が行うこととなっておりますので、以後の進行を会長にお願いいたします。

【議長】

本日は皆様お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

本日の出席委員は過半数を超えておりますので、会議は成立いたします。

なお、本日の会議につきまして「佐倉市情報公開条例」の規定により、会議は原則公開であり、事務局より本日の会議を公開することについて支えないとの見解も示されておりますので、公開となります。また、本日の会議には傍聴希望が1名ございます。傍聴人に入室していただきますので、しばらくお待ちください。

(傍聴人入室)

【議長】

傍聴人の方は、お手元の傍聴要領に従っていただきますようご協力をお願いいたします。

2 協議・報告事項

【議長】

それでは改めまして、第 2 回部活動地域指導事業検討会の議長を務めます緑川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは協議・報告事項に移ります。最初に第 1 回会議以降の各クラブの取り組み状況について、オックスベストフィットネス様説明をお願いします。

(オックスベストフィットネス説明)

【議長】

ご説明、ありがとうございました。11クラブで活動を開始して1年以上がたったところでございます。ただ今の説明の中でご意見ご質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。

【委員】

この活動が始まって、部活動の顧問の退勤時間っていうのが、もう見るからに早まっています。学校の教員の評判は非常に良いというふうに学校からも報告を受けています。今、把握している範囲で結構ですので、保護者の方からはどのような声が出ていますでしょうか。わかる部分がありましたら教えていただければと思います。

【オックスベストフィットネス】

お答えさせていただきます。保護者様からは、まずは第 1 に専門的な指導が受けられるようになった、というところが一番多く声をかけていただいている点でございます。あとは、お子さんたちから土日が楽しく、充実しているということを家庭でも聞く、といった意見をいただいております。

今後、アンケートを実施予定です。保護者や生徒、顧問の先生、指導員を対象に調査いたします。調査後、報告させていただきます。

【議長】

ありがとうございました。ほかにご意見等ございますか。

【委員】

現在、本校も陸上競技部が地域移行クラブとして活動しております。自分は、他の

部活動の顧問をしていて、休日練習に行ったときに、地域移行クラブの子どもたちが雰囲気良く活動できていることを感じます。所属している生徒に、土日の練習どちらが多いのかと聞いたところ、日曜日が多いですと言っていました。質問ですが、土日どちらかの活動日となると思いますが、日程の組み方はどのようにしているのですか。

【オックスベストフィットネス】

お答えさせていただきます。まず、学校のグラウンド、体育館を利用する部活動の空き状況を確認させていただいております。その後、指導員がそこに赴くことができるかどうかスケジュールの調整を行います。その上で顧問の先生と指導員の方でスケジュールを調整するという流れになっております。そういった中で、日曜日が多くなるクラブも状況としてはあります。

【議長】

ありがとうございました。ほかにございますでしょうか。

【委員】

資料4ページのところで、いろいろな活動をやっていて、すごいなと思ったところでは、子どもたちもすごく充実するだろうと感じました。その中で、傷害予防セミナーというのがあるのですが、これは具体的にどのような内容で行っているのか、また指導員研修についても、具体的な内容を知りたいと思っています。お願いします。

【オックスベストフィットネス】

傷害予防セミナーにつきましては、そら鍼灸整骨院様をお招きしました。知識のある方から、怪我の予防、またその怪我を予防するためのストレッチ、そういったものをメインでセミナーとして行っております。11月に傷害予防セミナーをまた実施しますが、それはオックス鍼灸整骨院の院長が対応することになっております。内容としては、怪我をする前の予防となりますので、そのための体の使い方、今現在の痛いところのチェックを行います。指導員の研修については、実地研修では、生徒に何かあった際の緊急時の対応やAEDの使い方等を行っております。Zoomやアーカイブを利用して、指導者にはハラスメント研修、指導に対しての安全管理等行っております。

【委員】

ありがとうございます。指導員に対する研修もいいなと思ったのですが、傷害予防セミナーもいいなと感じました。実際に、私も長いこと部活動の顧問をしていたのですが、この傷害の予防あたりが、部活動の顧問だとおろそかにする部分だったりする部分なので、こういったことを専門的に研修してくれるのはすごくありがたいなと思います。今後もよろしくおねがいできたらなと思います。ありがとうございました。

【議長】

ありがとうございました。ほかにございますか。

【委員】

今、研修の話が出たので思い起こしたのですが、指導に就かれている方は、そういった初歩的な研修が必要な方が大半なんではないでしょうか。それとも、他でも指導の実績があるインストラクター等のプロの方だったりするのでしょうか。ほかの時間があると思うのですが、普段どういつことをされている方が指導に就かれているのでしょうか。あと、地域ってありますが、佐倉市の方なのか、もしくは都内などから来ている方なのか、その辺り伺えますか。

【オークスベストフィットネス】

はい、佐倉市においてのお話をさせていただきますと、現在指導員の方はほぼ佐倉市の方になります。もちろん一部成田であったり、近隣のところからきている指導員もいます。

基本的には、トレーナー等ではなく、通常の仕事をしている方々が来て指導に当たっていただいております。基本的には、一般の方になっています。今回、この指導員の最初の派遣の段階では、各スポーツ協会の方々に全面協力もいただいている部分もあり、紹介していただきました。基本的には指導のスキルや経験スキルを重視しております。ですので、我々が用意している研修については、指導の中身というよりも、どちらかといえば外枠の安全管理等を行っていて、なかなか、逆に習うチャンスがないものを用意して、持っているスキルと合わせてもらおうといったようなものになっております。

【議長】

他に何かございますか。

【委員】

今後、アンケートをする中でいろいろ課題が出て来ると思うのですが、半年やってみて、何か課題点や、今後課題になり得る点ですとか、もしあったらわかる範囲で教えていただきたいのですが。

【オークスベストフィットネス】

大きな壁になっているといったことは、実はまだそんなにないのですが、学校と指導員と派遣する側の我々とで、連携や情報の共有っていうのが、できている部分もあるのですが継続的な課題点かなと思っております。やはり、意見の食い違いがどうしても発生してしまったり、保護者様に、今どういった状況でやっているのかっていう説明をしっかりとっていくといった情報共有が、引き続きやっていくところでもあり、課題になっていくかなというふうに考えております。

【議長】

他に何かございますか。

それでは、私の方から1点だけ伺います。

6ページに最近1か月の状況が列举されてまして、大会の引率、例えば上志津中学校の新人戦ということで行かれていると思うのですが、これは学校の先生は一緒に行かれたのですか、それとも単独で指導員だけで行かれたのか教えていただけますか。

【オークスベストフィットネス】

はい、お答えします。

上志津中学校のバスケットボール部の新人戦の時につきましては、先生はいらっしゃっていただきました。ただ根郷中様の女子バレー部の新人戦の時についてはクラブのみでの参加、先生の方はお休みいただいたという形です。クラブによるのですが、少しずつクラブでの実施ができるように成長してきております。

【議長】

上志津中は先生も行かれたということなんですけれども、これは行かなければいけないのか、それとも先生が気になって一緒にいったのか、どちらかわかりますか。

【オークスベストフィットネス】

はい、申込が学校での申し込みでないと大会にその時は出れなかったということで聞いております。

【議長】

ありがとうございました。それではご意見、ご質問など出尽くしたと思いますので、次に移らせていただきます。

今後の取り組みについて、事務局から説明をお願いいたします。

(事務局説明)

【議長】

只今、事務局より、令和7年度以降の休日部活動の地域移行のスケジュールおよび取り組みについて説明がありました。ご意見、ご質問などありましたら、どうぞよろしくをお願いいたします。

【委員】

リーフレットについて、職員も全員学校の方で周知しているのですが、保護者にも配布ということで、もし保護者の方から何か、意見があがっているとか、何か反応があれば、ちょっと教えていただきたいなと思います。お願いします。

【事務局】

はい、お答えいたします。保護者の方からは、進学予定の中学校にない部活動に入部を希望しているんだけど、この統合によって隣接するエリアの中の地区クラブに参加できるようになるのであれば、非常にありがたいといった肯定的なご意見をいただいております。各学校、活動している部活動に限りがあるので、そういったメリットはみられるかと思います。

【議長】

ほかに何かございますか。それでは、次の議題に行きます。

推進計画の策定について事務局から説明を求めます。

(事務局説明)

【議長】

ただいま事務局より推進計画の策定について説明がございました。何か気がついた点ございましたら、ご発言をお願いします。

【オブザーバー】

受益者負担については、いつから開始するなど決まっていますか。

【事務局】

現在まだ、いつからというところに関しては決めておりません。国や県の動向を注視しながら、検討を進めてまいります。

【オブザーバー】

令和7年度に受益者負担が開始することも考えられますか。

【事務局】

令和7年度中は、公費を考えております。

【議長】

他にございますか。

【委員】

受益者負担について、一応令和8年から考えるということですが、これはちょっと大変問題になるのではないかなと思うんですよ。基本的には、国や県の指針で動いていくってことだけれども、中学生は義務教育であって、そこに受益者負担という形を押しだすと、逆に部活動に参加しなくなる可能性も出てくると思うんですね。

だから、国や県の指針を常に状況を把握してもらうのだ大切だと思うんですが、ちょっと個人的には受益者負担っていうのはあまり賛成できない。なるべく義務教育であれば公費で負担できるような体制に、県や各市町村で体制がとれるかどうかは、なかなか難しい問題だと思います。基本はやっぱり、現状というか今の形を継続してい

って、充実していくというのが理想ではないかと思います。私の個人的な考えです。受益者負担というのは、問題が出てくるのではないかと懸念しています。

【議長】

ご意見ありがとうございます。受益者負担については、今後ポイントになってくると思いますので、いろいろなご意見を伺いながら、財政の問題や負担の問題など、慎重に検討していきたいと思います。

ほかに何かございますでしょうか。

続きまして、本日、オブザーバーから、北総地区の部活動地域移行の進捗状況とこれからにむけて、ご説明いただけるとのことです。どうぞよろしくお願いいたします。

【オブザーバー】

本日もお呼びいただきまして、ありがとうございます。まず、前回はそうだったのですが、佐倉市のこの検討会は、非常に活発な意見のやり取りがあって素晴らしい場になっていると思います。中心になる事務局側も教育委員会の指導課だけではなく、各課が本当によく連携されていて他市町のよい見本になっていて、望ましい状況で取り組んでいただいていると思っております。

佐倉市は、ここまで学校の部活動をそのままあまり形を変えずにクラブ化していく学校移行型の地域移行を進めてきましたが、来年度以降、各学校の部活動を統廃合させながら地区クラブを成立させていくという新たな形で進めていくという計画について、今後の地区の子どもたちの人数や、あるいは指導者の確保ということを考慮すると素晴らしいアイデアではないかと思います。市内でも単独でできる学校や部活動があれば統合していく必要のある学校や部活動もあるという進め方は、地域の状況に応じた選択が可能となる、よい取組ではないかと思います。

配付した資料は、私が担当している北総地区、すなわち、印旛・香取・海匝地区の計16市町の部活動地域移行の進捗状況をまとめたものです。まず、協議会、つまり、佐倉市でいう検討会についてですが、設置状況も16市町中15市町がすでに機能しています。協議会の年間開催回数は、佐倉市は年間3回ですが、大体1回から4回くらいの開催回数です。

令和6年度モデル事業の実施状況については、千葉県目標である各学校1部活動あるいは1部活動以上をクラブ地域移行化しているのが16市町中、佐倉市を含め8

つの自治体で、およそ半分です。佐倉市のような学校移行型が5自治体、拠点型が3自治体というような形で進んでおります。自治体として複数部活動のモデル事業を実施している自治体が1つあります。また、自治体で1部活動のモデル事業、すなわち昨年度の佐倉市と同様の形で実施しているところが2自治体あります。そして、未実施のところが5自治体というような状況が北総地区のモデル事業の進捗状況です。

令和7年度の予定については、当初国や県が出したスケジュールどおり、令和7年度に全ての部活動を地域移行化したいとしている自治体が2つ、佐倉市を含め各学校で複数部活動を移行させたいという自治体が9つになります。各学校1部活動の地域移行を目指している自治体が2つ、そして、部活動指導員で来年度は部活動を継続する自治体が1つとなります。未定あるいはめどが立たない自治体が2つあります。部活動の地域移行に苦しんでいる市町もあり、市や町によって状況が違います。このような中で、佐倉市はこの検討会の皆さんのおかげもあって、非常にスムーズに進んでいるのではないかと感じているところであります。

次に、佐倉市も行っている実証事業についてです。これは16市町中、10の市町が活用しております。業務委託をしているところは6自治体、うち1自治体は、来年度から実際にクラブ化することです。今北総地区はこのような進捗状況で、その中でも佐倉市はいろいろ課題もあるとは思いますが、皆さんの協力、熱意のおかげでスムーズに進んでいる市町の1つではないかと、千葉県の中でも、そういったように言えるのではないかと思います。

7月の検討会に呼んでいただいた時、千葉県小中体連の方々との話し合いの結果、今小中体連はこんな形で考えているということ、あるいは各16市町を訪問した際、私が感じたことなどを伝えさせていただきました。ちょうど前回訪問していた時には、千葉県吹奏楽連盟の方々のところにも足を運んでいるところでした。吹奏楽連盟も非常に一生懸命地域移行について考えております。上手に移行させたいという、連盟の理事長さんや県の理事の方、あるいはこの北総地区の担当の方と話し合いをしてきたのですが、吹奏楽連盟としても前向きに何とかしていきたいという方向性を持っています。ただ1点、どの方も声を大にしておっしゃっていたことが、活動場所の確保がとにかく一番の課題なのだそうです。これまでは、学校の音楽室があったから日本の吹奏楽が発展してきたのだとおっしゃっています。子どもたちがお金をかけずに楽器が使える、そういった楽器が使える空間がある。その活動場所がなくて、市町の施設だけに頼る、あるいは自分で楽器を持ち寄る、という形になると、一気に吹奏楽をや

る、音楽を志す子どもたちの数は激減するだろうと懸念していました。コーディネーターである私に求められたことは、各市町に行った際、ぜひこのことを各市町でも検討していただいて、できれば学校の音楽室を何らかの方法で、土日に学校の教員がいなくても使えるような状況にしていだきたいということです。

千葉県内には、約50組の地域バンドがあるそうです。大半が大人の地域バンドで、現状としては皆さん仕事の後、全員が集まれるわけでもなく、何とか音楽が好きで集まって、自分たちが時折演奏するのが精一杯で、ここで中学生を受け入れることはなかなか難しいクラブが多いということ、吹奏楽部の地域移行に関しては、地域バンドの受け入れを期待されているところもあるのだけれども、実態を知っておいていただきたいということです。

また、千葉県の吹奏楽連盟では指導者講習会を、毎年1回やっているそうです。そこで、吹奏楽の指導者としての力量が適切であると認められると認定書を交付するということです。この方々をどんどん指導者として、地域にある学校あるいは地域クラブ、あるいは地域バンドに派遣できればということもおっしゃっていました。そのためには、繰り返しになりますが、何とか場所の確保、学校の音楽室を貸してほしい、開放してほしいとのことでした。今日は、中学校関係の方がいらっしゃるので、前向きに考えていただければと思います。

小中体連は今、立ち上がった地域クラブの大会参加規程が種目によって異なるなど非常に複雑な問題に直面しています。全ての地域クラブが無条件で大会に参加できるというのが理想ですが、そう簡単にいかない実態がある中で、吹奏楽連盟は、学校部活動はもちろん、どんな団体も受け入れる体制を整えています。令和5年度より、あらゆる団体のコンクールへの出場を認めています。そして、令和6年度からS部門という少人数部活動や少人数クラブを対象とした部門を設立しています。この地域移行の中で人数が少なくなってしまうような部活動やクラブもあるだろうということから、そういった生徒たちがつらい思いをしないようにということで、10人以下の少人数の団体が参加するS部門を設立したということです。吹奏楽連盟は非常に前向きな取り組みをしているのではないかと考えています。

次に北総地区の地域クラブの大会参加規程の現状です。北総地区の3支部には全部で16種目の大会があるのですが、今回の地域移行で立ち上がった地域クラブが無条件で大会に参加できるのが7種目でした。県教育委員会と県小中体連との間では、この地域移行の中で立ち上がった地域クラブは無条件で大会参加できるようにすると

いう合意形成がなされています。ただ、合意のとおりとなっていない理由の一つとしては、県でいくらルールを作っても、国の大元の協会のルールがまだ、すべての地域クラブが参加できるという規定になっていないというところに対応に苦しんでいます。全ての種目の担当者、いわゆる専門部長と呼ばれる先生方は、地域クラブも大会に出したいと考えています。ただ、それでもまだ、条件を満たさなければ、出場させることができない状況の種目もあるというところも知っておいてください。この点については、各市町が、各種目の状況をよく把握したうえで、生徒や保護者などに情報提供しながら地域クラブを立ち上げていただき、学校や生徒、保護者に寄り添っていただければと思います。

最後にコーディネーターとして感じている事をお伝えさせていただきます。

今後、休日の地域クラブの指導に携わらなくなる教員がどんどん増えてきています。来年度はぐんと増えると思います。どうか本検討会に参加している皆様も含めて、このように指導に携わることがなくなった教員への温かい理解をお願いします。生徒たちの指導から離れたくない訳ではない教員も多くいることをもっと知っていただきたいと思います。どうしても働き方改革、あるいは教員が負担だということばかり耳に入ってきてしまうのですが、本当は生徒たちを指導したいと思っている教員も多くいます。自分の専門種目ではないから、それなら専門の指導者に預けた方が生徒たちは幸せだろうと考えている方もいます。自分の子どものことや、親の介護のことでやむなく土日の部活動ができないという方もいます。後ろ髪を引かれる思いで辞めていかなければならない先生方に、どうか温かい理解をお願いしたいです。そのような先生方は、学校での授業を今まで以上に充実させ、生徒に寄り添うことに時間をかけてくださると思います。温かく、それぞれの教員の判断を受け入れていくという雰囲気を、佐倉市で作っていただけるとありがたいです。

あと、前回の検討会でも話をさせていただいたのですが、校内準備委員会の設置と活性化のお願いです。佐倉市教育委員会任せにせずに、各学校で、うちの学校はこうしていきたいという考えを持っていただきたい。それが子どもたちにとってのよりよい地域移行になっていくというところです。

最後に、部活動地域移行についての学校職員の正しい理解と改革への当事者意識をもっていただくという趣旨で、佐倉市はリーフレット等を配付し、教職員にも理解を図っているということです。ですので大丈夫かとは思いますが、やはり学校職員一人一人が、県が進める部活動地域移行とそれぞれが所属する市町村、すなわちこの佐倉市の

部活動地域移行について正しく理解し、保護者や児童生徒に対して最低限の説明ができるようにしておくということが大切だと思います。それぞれの職員一人一人が、この改革に対する思い、子供たちのためにこういう改革であってほしい、こういう指導者に引き継ぎたい、ということを真剣に考えることが大事だと思います。それが次の、よりよい地域移行クラブの設立に繋がってくるのではないかと考えています。

本日は、お呼びいただきまして、ありがとうございました。以上です。

【議長】

ありがとうございました。それでは、せっかくの機会ですので、質問もしくは全体を通して、最後聞いておきたいなというようなことがございましたら、挙手の上、帆発言をお願いいたします。

それではこの場ではよろしいでしょうか。

最後、副会長よりお願いいたします。

【副会長】

本日もありがとうございました。

先程、オブザーバーからも色々な状況もお示しいただきましたように、私も色々ないろいろなところと関わりがある形からすると、佐倉市は非常に進んでいるなというのは、正直な感想でございます。

その一方で、オブザーバーの話にも合ったように教職員や保護者と生徒に早い段階から丁寧な説明をという、ここが非常に大きなポイントなのかなと考えております。いわゆるやはり、私も含めて中学校のクラブ活動というと、学校の先生だよりになってきたという、そういう歴史的な文化がありますから、今進んでいこうというものはこの文化をまるっきり変えるような話になるので、スポーツの価値観というものが全く変わってくるものになってくるということでもあります。そういった意味では、最終的には、もしかしたら受益者負担というようなのが現実的な話になるかもしれませんし、もしかしたら部活動が習い事のような位置付けになってくるというような世の中になるかもしれないし、その辺りというのはまだまだ不透明なところであるというところかと思っています。

現段階では県や市が予算を講じて、こういった実証事業をやっていますけれども、これが果たして自走したときに、どういうふうになっていくかっていうのは、まだ予

測もつかないですし、その辺りは各行政が苦労しているところなんではないかというふうに思います。

また現在、オークスベストフィットネスさんが非常に積極的にやっていただいておりますが、やはり人材の確保とか指導の質の担保を色々な面においては、やはりまだまだ行政との委託の中でいろいろな擦り合わせをした中で、進まなければいけないというところが多いことかと思えます。

また対極的な面で見ますと、学習指導要領というのがございまして、この学習指導要領の中で、この部活動というところをどのような立ち位置にするのか、というのがおそらく今後大きなポイントになってくるというのは間違いありません。指導要領というのは数年にわたって改訂をしていくわけですが、次の改訂の中で、どの程度そのあたりを踏み込むのかといったところが、やはり学校の教員側として大きなポイントになってくるであろうということは、間違いがないというところでございます。

そういった意味でいくと、まだまだ見えないことが多いということもあったり、それから佐倉市の中でも当然地域差があるわけで、そういった意味では地区割のような地区ごとにいろんなバリエーションを組んだ形っていうのは、非常にオリジナルというか好事例なのではないかというふうに思っております。

いずれにしても、さきほど説明がありましたように、3年生が引退してしまうと、急に部員が少ない部活があったりすることからすると、これでいいかなと思ってもそうではないこともあります。実際、中学生のみなさんは、人数が多くなったり少なくなったり、あるところでは急に野球部が増えたり、急に野球部がいなくなったりというような現象が起きますから、その辺りをどういうふうにイニシアチブをとっていくのかっていうのは、先ほど来、教育委員会任せではなく、学校といろいろ連携した中で、子どもたちが一番いい形を模索していくというような形が重要なのかなと思っております。そういった意味では、先ほどお示しいただきました推進計画というのが1つの道標になると思いますので、その推進計画の中では、子供たちに不利益がないようなところに重点を置いていただきたいというところでございます。ちょっと長くなりましたが、以上で終わります。

【議長】

ありがとうございました。本日、それぞれのお立場から貴重なご意見をいただきました。事務局はこういったご意見を踏まえて、今後、慎重かつ着実に事務を進めてい

くようお願いいたします。

最後に、今後のスケジュールについて事務局お願いいたします。

【事務局】

はい、今後の予定についてですが、第3回会議につきましては、日程の詳細はまだ決まっておりませんが、3月下旬を予定しております。令和6年度の実証事業の状況および課題の報告、そして推進計画についての協議、令和7年度についてお話しさせていただければと思っております。また、ご案内させていただきますので、どうぞご参加のほどよろしくお願いいたします。

【議長】

はい、ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして第2回佐倉市部活動地域指導事業検討会を閉会いたします。皆様、ありがとうございました。